

日米投信週次概況(2023年5月17日週)

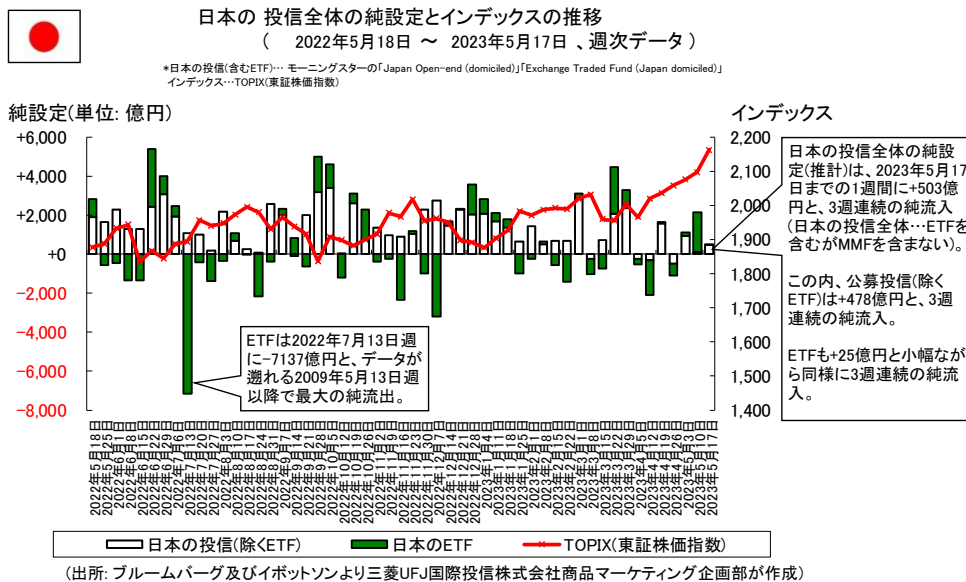
# 米国でバフェットが追加投資を検討する日本株のファンドに今年2番目に大きな純流入！

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本は33年ぶり株高で投信新規設定額2・3位は日本株!! 日経225型は純流出加速.....p.1
- 米国でバフェットが追加投資を検討する日本株のファンドに今年2番目に大きな純流入！ .....p.3

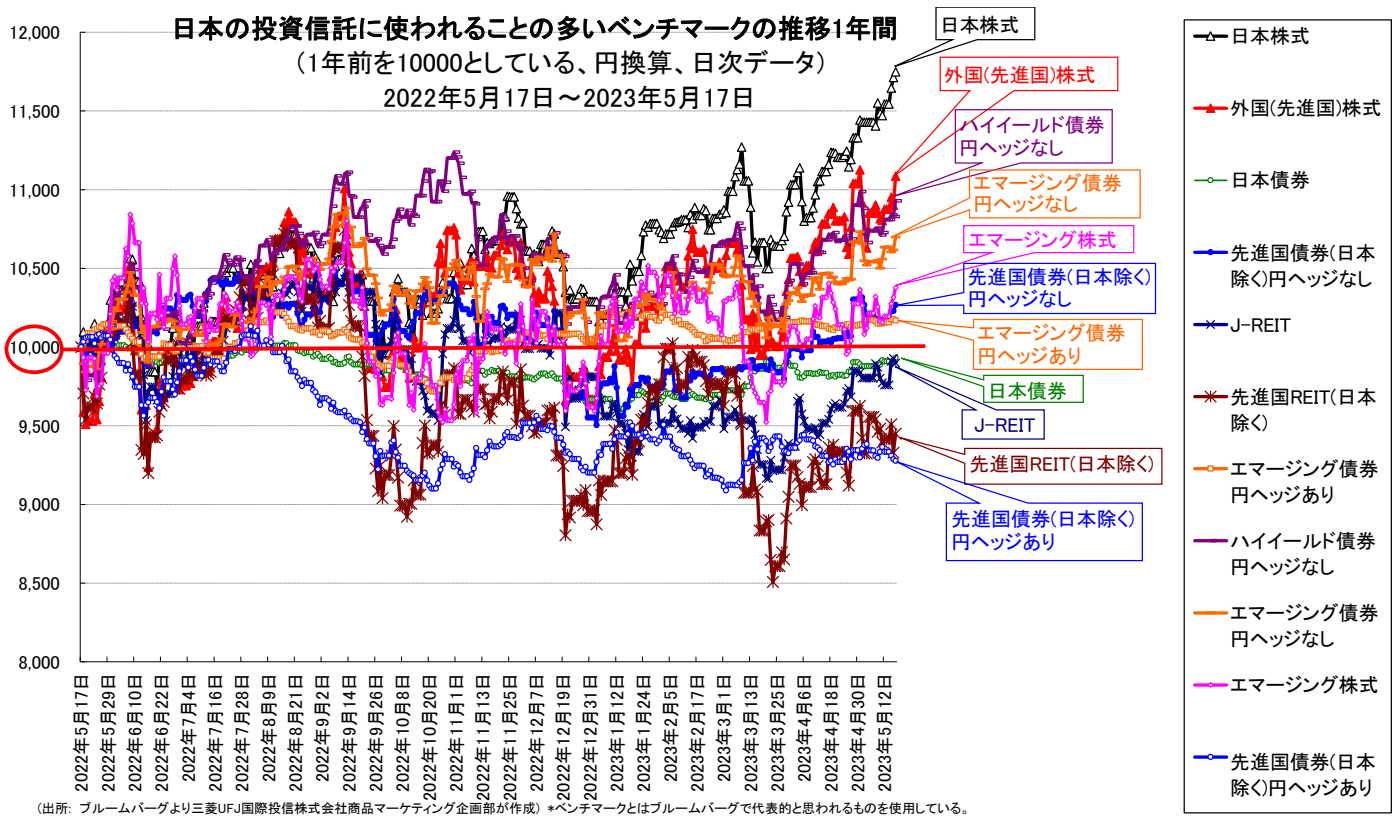
## ●日本は33年ぶり株高で投信新規設定額2・3位は日本株!! 日経225型は純流出加速

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2023年5月17日までの1週間に+503億円と、3週連続の純流入(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、**公募投信(除くETF)は+478億円と、3週連続の純流入。**ETFも+25億円と小幅ながら同様に3週連続の純流入となった。



**TOPIXは、2023年5月16日に2,127.18と、1990年8月3日(2,174.67)以来約33年ぶり高値**となった。2020年3月16日に付けた1236.34(2016年7月8日以来安値)から+72.1%上昇した。**日経平均株価も2023年5月17日に30,093.59円と2021年9月28日以来、1年8カ月ぶりに3万円を超えた。**5月19日には30,808.35と1990年8月1日の30,837.99以来約33年ぶりの高値となった。2020年3月19日に付けた16,552.83(2016年11月9日以来安値)から+85.3%上昇した。

33年ぶりの日本株高だが、2023年5月17日までの1年間で日本の投資信託に使われることの多いベンチマーク11個の中で、**日本株式のリターンが+17.5%と最も高い**(1週間でも+2.3%と外国株+2.5%に次いで高い)。



最新2023年5月17日週の公募投信(除くETF)純設定額を分類別に見る。純流入1～3位は日本専門株、グローバル株-日本を除く、インド株。1位の日本専門株は2023年5月15日に311億円で新規設定されたファンドが大きい(2023年新規設定額3位)。同ファンドは日本の取引所に上場している株式の中から、アニメやゲームなどコンテンツ産業およびコンテンツの知的財産等に関連する企業に投資する。

2023年5月15日には317億円(2023年新規設定額2位)で新規設定された日本株ファンドもある(次頁テーブルでは6位日本株大型ブレンドに含まれる)。日本株の内、経営者の質や競争優位性は高いが市場ではまだ評価されていない潜在価値の高い企業を選別して投資する。今年2023年に設定された日本株ファンドには2023年1月25日に1047億円で設定されたファンド(日本の株式のうち、外需関連企業やインバウンド消費に関連する企業に投資、基準価額が1万2000円以上となった場合は安定運用に切り替え繰り上げ償還)があり、結果として、2023年の当初設定額1～3位は全て日本株となった(投資信託協会「新規設定ファンド等に関するデータ」～

<https://www.tosshin.or.jp/search/newfunds/index.html>)。

ただ、33年ぶりの株高で、日経225連動型ファンドは利食いの解約が膨らみ、純流出が加速している(次頁テーブルでは日本株大型ブレンドに含まれており、上述した317億円の新規設定で4週ぶり純流入に転じた)。

日本の投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順) 2023-05-17現在  
 \*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	Japan Specialty Equity	+32,650	-756	+31,264	476,525	日本専門株
2	World ex-Japan Equity	+11,467	+495	+21,718	6,756,796	グローバル株-日本を除く
3	India Equity	+10,415	+3,872	+31,377	1,051,899	インド株
4	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+7,560	+1,850	+26,809	678,806	日本中小型バリュー株
5	World High Yield Bond US	+5,650	+989	+17,482	1,026,721	米国ハイイールド債
6	Japan Large-Cap Blend Equity	+4,123	-23,143	-47,800	6,834,364	日本株大型ブレンド
7	US REIT	+3,752	+1,018	+12,211	2,128,474	米国REIT
8	Japan REIT	+3,668	-97	+6,183	2,685,616	日本REIT
9	Moderately Aggressive Allocation	+3,657	+2,817	+16,120	2,888,944	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
10	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	+3,298	-522	+3,374	1,325,812	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
84	World Hybrid Security - Other	-2,252	-507	-6,621	316,823	グローバル・ハイブリッド証券-その他
85	Tactical Allocation	-2,512	-678	-7,571	1,299,560	タクティカル・アロケーション
86	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,540	-1,481	-4,933	811,765	日本中小型グロース株
87	Japan Other Equity	-2,575	-1,443	-4,544	374,569	日本その他株
88	Japan Large-Cap Growth Equity	-2,915	-3,041	-8,826	1,174,052	日本株大型グロース
89	World Other Equity	-3,479	-1,628	-14,570	933,208	その他グローバル株
90	Risk Control Allocation	-3,740	-705	-10,671	1,459,131	リスク・コントロール・アセットアロケーション
91	North America Equity - JPY Hedged	-5,907	-2,951	-13,825	952,099	北米株-円ヘッジ
92	World Equity - JPY Hedged	-7,108	-1,603	-17,624	1,497,135	グローバル株-円ヘッジ
93	Alt-Multistrategy	-9,014	-197	-7,776	677,584	オルタナティブ・マルチストラテジー
全93分類の合計		+47,851	+10,359	+101,489	91,519,754	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+2.29	+0.50	+4.57		
S&P500		+0.59	+1.17	+0.25		
MSCI ワールド		+0.05	+1.02	-0.12		

(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

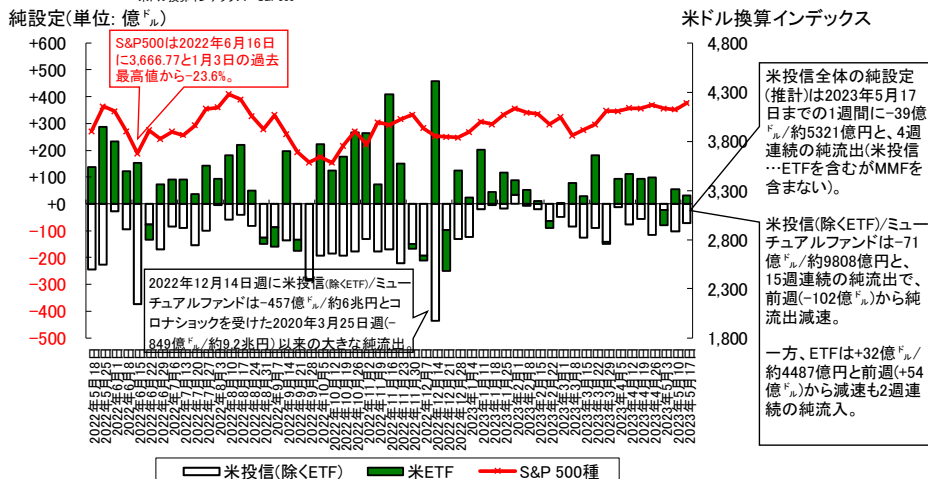
## ●米国でバフェットが追加投資を検討する日本株のファンドに今年2番目に大きな純流入！

米投信全体の純設定(推計)は2023年5月17日までの1週間に-39億<sup>ドル</sup>/約5321億円と、4週連続の純流出(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-71億<sup>ドル</sup>/約9808億円と、15週連続の純流出で、前週(-102億<sup>ドル</sup>)から純流出減速。一方、ETFは+32億<sup>ドル</sup>/約4487億円と前週(+54億<sup>ドル</sup>)から減速も2週連続の純流入となった。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
 (2022年5月18日～2023年5月17日、週次データ)

\*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。  
 米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: ブルームバーグ及びイボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

\*米モーニングスターが発表する週次純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2023年5月17日週の投信全体純設定額を分類別に見る。 **米国株が-45億ドルと、3週連続の純流出も減速傾向。** 外国株は+8億ドルと2週連続の純流入、コモディティは-4億ドルと2週ぶり純流出。 一方、**債券は+26億ドルと7週連続の純流入。** 非伝統的株式は+6億ドルと長期連続の純流入。

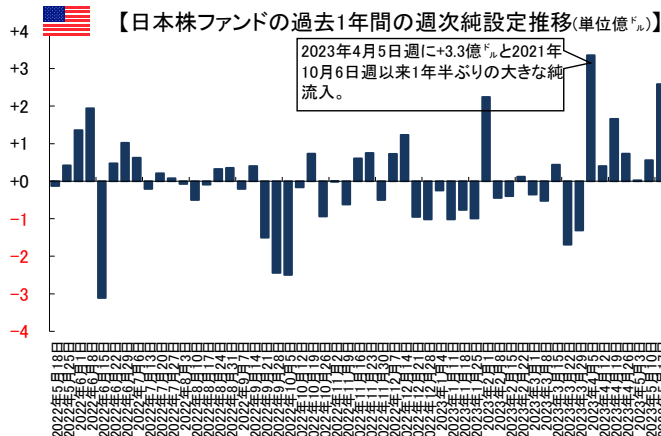
より投資対象を細かく見る。 米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は下記の通り。 **純流入1~3位は米国短期国債、米国中長期コア債、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)。**

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2023-05-17現在  
 \*ETFを含むがMMFを含まない。 週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Short Government	+3,007	+319	+3,357	79,818	米国短期国債
	2 Intermediate Core Bond	+2,016	+1,300	+7,957	563,614	米国中長期コア債
	3 Large Blend	+1,444	+3,701	+3,413	3,046,464	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	4 Corporate Bond	+1,390	-244	-907	140,608	社債
	5 Long Government	+1,278	+1,101	+3,448	94,491	米国長期国債(6年超)
	6 Foreign Large Blend	+1,050	+975	+2,530	846,150	外国大型ブレンド株
	7 Intermediate Core-Plus Bond	+753	+1,152	+5,018	530,849	米国中長期コアプラス債
	8 Derivative Income	+686	+465	+2,677	56,389	デリバティブ・インカム
	9 Technology	+635	+393	-302	219,706	米国テクノロジー株
	10 Intermediate Government	+448	+1,243	+2,682	171,610	米国中長期国債(4-6年)
下位 10 分類 ↓	13 Japan Stock	+259	+56	+390	23,429	日本株
	112 Health	-558	+327	-387	138,735	ヘルスケア株
	113 Natural Resources	-582	-485	-1,496	51,050	天然資源関連株
	114 Financial	-610	-1,452	-2,042	59,009	金融株
	115 Nontraditional Bond	-615	-292	-636	98,485	非伝統的債(絶対収益型など)
	116 Small Blend	-620	-1,662	-2,189	345,827	米国小型ブレンド株
	117 Bank Loan	-1,027	-912	-2,716	63,776	米国バンクローン
	118 High Yield Bond	-1,338	-1,384	-2,857	231,376	米国ハイイールド債
	119 Large Value	-1,949	-2,473	-7,580	1,225,207	米国大型バリュー株
	120 Ultrashort Bond	-2,223	+989	-962	277,445	米国超短期債
	121 Large Growth	-3,187	-1,773	-5,418	1,513,948	米国大型グロース株
全121分類の合計		-3,856	-4,717	-18,287	16,152,117	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+2.29	+0.50	+4.57		
S&P500		+0.59	+1.17	+0.25		
MSCI ワールド <sup>®</sup>		+0.05	+1.02	-0.12		

(出所: プルームバーグ、イボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)  
 ※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

日本の投資信託に使われることの多いベンチマークで好パフォーマンス(推移1年間)となっている **日本株式は7週連続の純流入となり、週次ベースでは今年2023年で2番目に大きな純流入だった(全121分類中13位)。**



(出所: イボットソンより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

**日本株については、米著名投資家ウォーレン・バフェット/Warren Buffett氏が2023年4月11日に「追加投資を検討したい」と強気な見方を強調したというインタビュー報道があり**(2023年4月11日付Reuters「Buffett boosts stakes in Japanese trading houses, may

invest more」～ <https://www.reuters.com/markets/asia/buffett-says-he-holds-74-stake-five-japanese-trading-houses-including-tochu-2023-04-11/> )2023年4月11日付Fortune「Warren Buffett's Berkshire Hathaway boosts Japan shares」

～ <https://fortune.com/2023/04/11/warren-buffett-has-his-eyes-on-this-one-country-when-it-comes-to-his-future-investments-and-he-already-owns-6-of-its-top-5-companies/> )、**2023年5月6日の年次株主総会で、日**

**本での投資継続を言明、「これからも日本企業の投資先を探していく」と発言したと言う**(BERKSHIRE HATHAWAY INC.～

<https://www.berkshirehathaway.com/> )。

また、2023年5月16日付米ウォールストリート・ジャーナル紙は「**今回は違う/“This time is different”は投資の世界では最も危険な言葉/most dangerous wordsであるが、今回は日本の投資家が前向きな変化/positive changesが市場で起こりつつあると確信を深める理由がある。**日本株は1990年以來の高値となった。TOPIXは年初来+12%で世界の中でも好調ぶりが際立つ。米著名投資家ウォーレン・バフェット/Warren Buffett氏が日本市場に信任票を投じている。同氏の率いる投資会社バークシャー・ハザウェイ/Berkshire Hathawayが保有する米国以外の外国株式で、日本株の比率はトップに立つ。…(略)…今回は楽観する根拠がある。まず安倍元首相が旗振り役となった**コーポレートガバナンス/corporate governanceが実を結びつつある**事だ。自社株買いや配当による還元/payouts from buybacks and dividendsの合計は2022年、記録的な水準となった。バークシャーが出資する5大商社の一つである三菱商事は先週、総額3000億円を上限とする自社株買いを発表した。…(略)…**株式持ち合いの解消/unwinding cross-shareholdingsをさらに進めている。**株式持ち合いは株主資本利益率/ROEを抑制、バリュエーションの足かせになっていた。」(下線は当レポート筆者、2023年5月16日付WSJ「Warren Buffett Likes Japanese Stocks—Maybe You Should Too」～ <https://www.wsj.com/articles/warren-buffett-likes-japanese-stocks-maybe-you-should-too-9187126> )とも言う。

バフェット氏は3年弱前の2020年8月31日にバークシャー・ハザウェイのニュースリリースで日本の5大総合商社/five of Japan's biggest trading companies(伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、住友商事、丸紅)の株を買った事を発表、「**日本と5社の未来に参画出来る事を嬉しく思う。**」と言っている。

以 上

三菱UFJ国際投信【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「各年… <https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html> 、  
<https://www.am.mufg.jp/smp/market/report/investigate.html> 」。

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 企画グループ

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、内外の資産運用に関連する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

### 本資料中で使用している指数について

- TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
- MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会